



川辺の防災基地

# 河川防災 ステーション

鬼怒川・真岡地区  
河川防災ステーション

小貝川・藤代地区  
河川防災ステーション



下館河川事務所

# 河川防災ステーションって なあに？

地域みなさんの「ふれあい空間」として。

暮らしの安全を守る「活動拠点」として。

平常時

地域の人々のスポーツ、レクリエーションの場として、また  
河川を中心とした文化活動の拠点として活用されます。

真岡地区河川防災ステーション

## 自然レクリエーション

公園・広場として活用され、市民の健康増進の場として利用されます。

## 市民の交流拠点

休憩室や展示室、会議室等を配置し、地域の方々の交流の拠点として活用されます。

## 防災学習

防災情報パネルの設置や防災訓練実施等により、防災意識向上を図る場所として活用されます。

近年、地球温暖化により水災害が激甚化・頻発化しており、これまで以上の水災害リスクへの備えが必要となってきました。「河川防災ステーション」は洪水等の災害発生時における河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動の拠点として整備された施設です。平常時は地域のみなさんのふれあいの場として、洪水時等は緊急活動を行う上で必要な鋼材や土砂などの資機材の備蓄や搬出入等を行う拠点となります。現在、国土交通省と地方自治体が連携し、全国各地で整備を進めています。

## 洪水時

堤防決壊等の災害が発生した場合には、緊急復旧を行うための拠点となります。

真岡地区河川防災ステーション



- 災害対策車輛基地
- 車輛交換場所

- 水防資材の備蓄基地
- 洪水時の現地対策本部
- 水防団の待機所

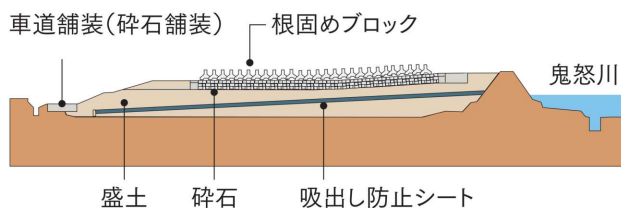
水防ヘリポート

# 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション

栃木県真岡市の若旅地先（鬼怒川左岸58.5km）に、国土交通省と真岡市の共同事業として整備されました。ヘリポートや水防資材倉庫、水防団員のための待機室などを備え、緊急時の活動拠点となっています。また平常時は環境学習の場として活用されています。



## 断面図



## 真岡市防災センター

真岡市が水防活動を円滑に行う拠点となる施設です。洪水時は、水防団待機所や水防倉庫として、水防活動に必要となる設備機能を有します。平常時は水辺の鳥や昆虫の観察センターとして、地域の方々にも利用されています。

### 防災センター



### ヘリポート・車両回転場所

センター北側に、乗用車及び大型バスが駐車できる舗装駐車場があり、さらに大型ヘリコプター離着陸可能なヘリポートを完備します。

## 盛土・植栽

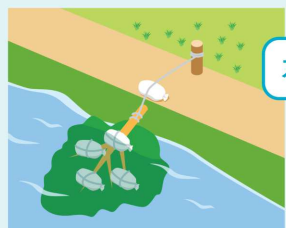
防災ステーションの盛土や植栽される樹木は、水防活動時の資材として、土のうや、木流し、杭丸太に利用されます。



盛土



木流し



葉の多い木に土のうの重しをつけ、投げ込むことで堤防が削られるのを防ぐ。

## 水防資材の備蓄

鋼矢板、割栗石、再生砕石、水防用土砂、根固めブロック、袋詰め根固め、土のう袋等が備蓄されています。



根固めブロック



袋詰め根固め



割栗石

地面に埋められ、保管されています。



## 豊かな自然との ふれあいの場として…

### トンボの池

5つの池と芝生、草地、湿地で構成され、水辺で暮らす様々な生き物を観察することができます。また、真岡市指定天然記念物に指定されたオオキトンボやマダラヤンマ等の珍しいトンボも生息しています。



※希少種であるオオキトンボとマダラヤンマは採集が禁止されています。

## 鬼怒水辺観察センター

鬼怒水辺観察緑地の管理運営の中心的施設です。自然観察・鑑賞及び自然とのふれあいを通じて、自然を理解する環境学習の場として活用されています。観察センターには自然観察の指導や手伝い、緑地の管理などを担当するレンジャーが駐在しています。



### オオバンの池

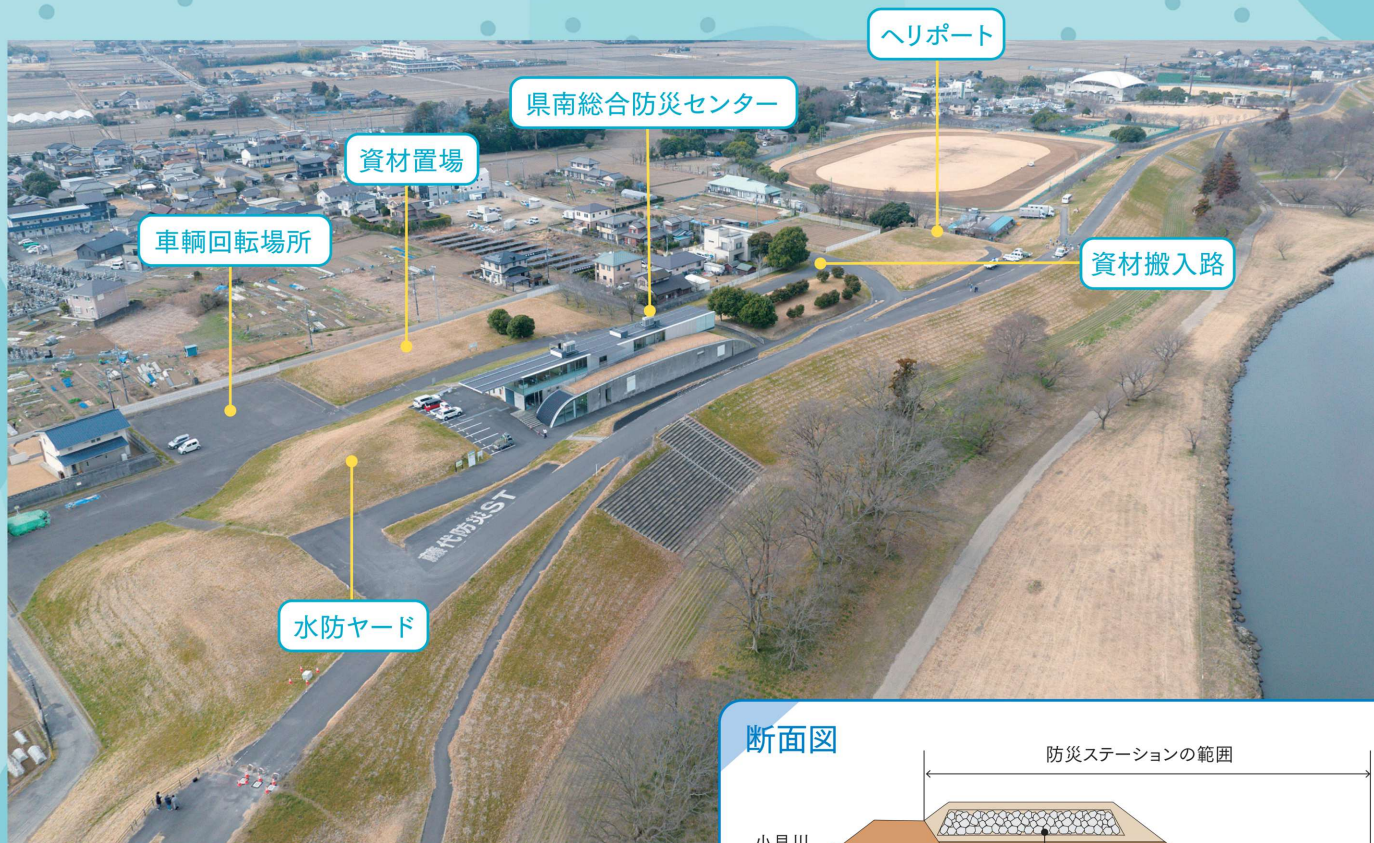
かつて水田だった場所で、春から秋にかけては水位が上がり広い池になっています。池にはガマやアシなどの湿生植物が生育し、夏季にはオオバンやカイツブリ、サギの仲間が集まります。冬季は水が抜け乾燥し、タゲリやタシギなどが観察できます。



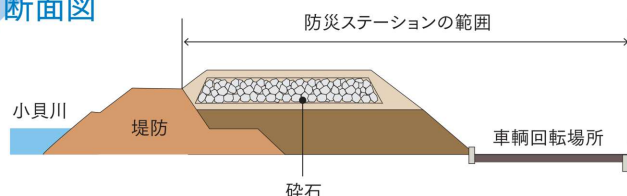
※オオバンの池とその周辺の動植物の採集は禁止されています。

# 小貝川・藤代地区河川防災ステーション

茨城県取手市櫛木地先（小貝川右岸3.4km）に関東地方で初めて、国土交通省と県南総合防災センター運営協議会との共同事業で整備されました。面積は10,770㎡で、防災センター、水防ヤード、ヘリポート、資材置場等の施設があります。



断面図



## 県南総合防災センター

茨城県南の8市町（常総市・取手市・守谷市・つくばみらい市・龍ケ崎市・牛久市・つくば市・利根町）が内閣府や茨城県の全面的協力により、国土交通省下館河川事務所の管理する河川防災ステーション内に平成13年4月1日、オープンしました。広域では県内初の地域防災拠点施設整備のモデル事業として建設され、災害に備えるため、食料や防災用機材の貯蓄をしており、災害時には救援物資の供給活動拠点や広域避難所として機能を発揮します。平常時は、防災訓練や講演会、地域住民の防災意識を高めるための体験学習、レクリエーションの場等にも利用されています。一階は生活物資備蓄庫や防災活動準備室、二階は総管理室、防災教育室、防災組織待機・連絡室、管理事務所等があります。



屋根が張り出した独創的なデザインは、世界的に注目されている建築家・隈研吾氏の設計図によるものです。



備蓄庫

## 水防ヤード

水防資材の保管や、水防活動時に土のうを作成するための作業場所です。



## 水防資材の備蓄

鋼矢板、割栗石、再生砕石、根固めブロック、水防用土砂等が資材として備蓄されています。



## ライブ映像

藤代地区河川防災ステーションにはライブカメラが設置されています。10分毎に更新され、河川のリアルタイム情報を確認できます。

## 水害に備えて…



水害に備えて水防訓練や防災講演会等が行われています。

### 水防訓練の様子



### 防災講演会



### 防災シンポジウム



# 鬼怒川・真岡地区河川防災ステーション

河川防災ステーションは広域的な災害支援施設としての役割も担っています。

平成10年 9月

## 余笹川氾濫

平成10年9月、栃木県管理の余笹川で氾濫が発生。緊急な災害復旧のため、真岡地区河川防災ステーションより、4tの根固めブロックを緊急支援しました。



氾濫

緊急資材の  
支援

栃木県土木より  
資材支援要請



4t根固めブロック  
120個の貸与

平成27年 9月

## 関東・東北豪雨

平成27年関東・東北豪雨により鬼怒川で堤防が決壊。決壊箇所の応急復旧で、河川防災ステーションに備蓄していた根固めブロックや鋼矢板などの資材を使うことにより、早期に工事を完了させました。真岡地区河川防災ステーションでは、根固めブロック、割り栗石、水防用土砂等の供給を行いました。



堤防  
決壊

真岡地区  
河川防災  
ステーション

大利根  
河川防災  
ステーション

上新郷  
河川防災  
ステーション



水防用土砂積み込み



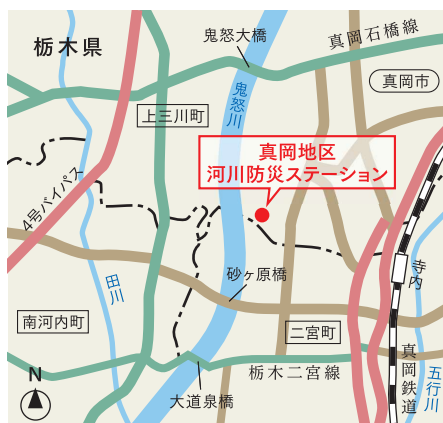
割り栗石積み込み

緊急資材の  
支援



復旧現場の様子

真岡地区  
河川防災  
ステーション



藤代地区  
河川防災  
ステーション



下館河川事務所

〒308-0841 茨城県筑西市二木成1753

TEL. 0296-25-2161

<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

